

三里地区地域のまちづくりモデル事業 経過報告

1. これまでの経過及び今後の予定

平成 29 年 12 月 20 日現在

年月日			内 容
平成 28 年	11 月	6 日	将来に備えることをみんなで考えよう!! (ワークショップ) 《48 人》
平成 29 年	2 月	21 日	三里のまちづくりを考える勉強会 《31 人》 まちづくりアンケート実施 … 回収数 425 件 回収率 53.4%
	3 月	28 日	準備会立上げに向けた会議① 《8 人》
	4 月	13 日	準備会立上げに向けた会議② 《10 人》
	5 月	18 日	準備会立上げに向けた会議③ 《9 人》
		31 日	準備会立上げに向けた会議④ 《5 人》
	6 月	14 日	準備会立上げ① 《32 人》
	7 月	23 日	まちづくりワークショップ① 《75 人》
	8 月	9 日	準備会② 《25 人》
		23 日	準備会③ 《20 人》
	9 月	10 日	まちづくりワークショップ② 《39 人》
	10 月	4 日	準備会④ 《22 人》
	11 月	8 日	準備会⑤ 《16 人》
		26 日	まちづくりワークショップ③ 《49 人》
12 月	20 日	準備会⑥ 《17 人》	
平成 30 年	1 月	17 日	準備会⑦ (予定)
	2 月	21 日	準備会⑧ (予定)
	3 月	7 日	準備会⑨ (予定)
		25 日	報告会 (予定)
	4 月		準備会⑩ (予定)
			準備会⑪ (予定)
5 月		まちづくり協議会【仮称】設立 (予定)	



まちづくり協議会設立準備会

区長、各種団体の代表等計 39 人で組織。まちづくりワークショップで出された意見について整理・まとめを行う。



まちづくりワークショップ

区長ほか各種団体、地域住民、地区担当職員(市役所職員)へ参加を呼びかけて開催。さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合う場です。

《 》は参加者数

2. 三里まちづくり協議会設立準備会名簿

	所属団体	準備会役職
1	三里振興会 会長	◎代表
2	H28 三里校区区長会 会長	○副代表
3	H29 三里校区区長会 会長、青少年健全育成会	○副代表
4	梅まつり実行委員会 事務局	事務局長
5	H29 三里校区区長会 副会長	○副代表
6	H28 三里校区区長会 副会長	事務局
7	三里振興会 学識経験者	
8	三里振興会 相談役	
9	小城町地域婦人会 理事	事務局
10	婦人部	
11	ふるさと・夢つむぎネットワーク 監事	事務局
12	峰 区長	
13	小隈 区長	
14	坂井 区長	
15	湯谷 区長	
16	西川 区長	
17	山崎 区長	
—	上右原 区長 (H29 三里校区区長会 会長)	
18	下右原 区長	
19	門前 区長	
20	小島 区長	
21	下久須 区長	
22	牛尾 区長	
23	大江 区長	
24	船田 船田区監査役	
25	久蘇 区長	
26	轡ヶ里 区長	
27	小城市消防団 小城第4分団長	
28	民生・児童委員 三里校区代表	
29	交通安全協会 三里支部長	
30	三里小学校育友会	
31	三里校区青少年育成会 中学部会	
—	JA (山崎区長)	
32	みかん部会	
33	梅部会	
34	梨部会 部会長	
35	苺部会	
36	三里小学校 校長	
37	三里保育園 園長	
38	地域のまちづくり相談員 (市役所)	
39	地域のまちづくり相談員 (市役所)	

3. まちづくりワークショップ

	日 時	参加者数	内 容
第1回	7月23日(日) 9:30~12:10	75人	*地域のまちづくりモデル事業説明 (小城市企画政策課) *ワークショップ ○ワークショップの進め方とテーマ説明 ○テーマにそって話し合いを行い、三里のまちづくりの方向性を見定めていく。 【テーマ】 人を活かす 歴史・場所を活かす 高齢者への対応 子育て応援 防災・安全安心
第2回	9月10日(日) 9:30~12:10	39人	*ワークショップ ○テーマごとに三里のまちづくりの柱と未来目標を考える。 ・テーマごとの目標を考える ・テーマを越えて一緒にできることを探す
第3回	11月26日(日) 9:30~12:15	49人	*ワークショップ ○テーマ目標をみがきあげ、三里まちづくりプラン(案)の作成に向けて全体目標を考える。 ・テーマごとの目標を再検討し、さらに上位目標を考える ・5つのテーマで、一緒になればさらにより活動ができると思うテーマを探す ・プラン実現後の三里の様子を考える

4. これまでの課題

- ・まちづくりアンケートの回収率が行政区によってバラツキがあった。
(回収率100%の行政区もあれば、回収率22.7%の行政区がある)
⇒回収をお願いしている区長の意識の違いを埋めていく。
- ・まちづくりアンケートを中学生以上を対象に実施してもよかったのではないか。
⇒若者の意見も幅広く収集できるとともに、活動の周知にもつながる。
- ・準備会出席者が回を重ねるごとに減少。
- ・準備会への各種団体代表の出席者が少ない。
⇒準備会の開催が多すぎる?
各種団体へまちづくりへの参加意識の醸成が図れていない?
- ・まちづくりワークショップへの参加者の減少。
⇒新規の参加者を促すことも必要だが、3回のワークショップを通して参加してもらう工夫が必要。
- ・まちづくりワークショップへの若者・女性の参加が少ない。
⇒育友会、青少年育成会へ参加を促す取組みが必要。
- ・準備会と公民館(支館)との関わりが薄い。
⇒今後の活動においても公民館との連携は必要になってくるため、庁内で公民館とまちづくり協議会(仮称)との関係を整理する必要がある。